

大桑村教育委員会 5 月定例会 会議録

開催日時 令和 8 年 5 月 21 日（木）午前 9 時 28 分から午前 10 時 27 分まで

開催場所 特別会議室

出席者	教 育 長	野知里 浩寿	教育長職務代理者	白木 正
	教 育 委 員	石其 正	教 育 委 員	松尾 輝明
	教 育 委 員	細田 愛	教 育 次 長	輿野 敦

傍 聴 者 なし

会議日程

1. 開会

2. 挨拶

3. 報告

- ・ 4/3（金）保育園入園式
- ・ 4/6（月）小学校入学式、中学校入学式
- ・ 4/7（火）蘇南高等学校入学式
- ・ 4/13（月）県市町村教育委員会連絡会（Zoom）
- ・ 4/22（水）セカンドブック贈呈（1 年生）
- ・ 4/28（火）村歓送迎会（小学校長、須原駐在）
- ・ 4/29（水・祝）子ども釣専用河川開き
- ・ 5/10（日）木曽郡少年相撲大桑大会
- ・ 5/20（水）木曽郡町村教育委員会連絡協議会
- ・ 役場職員編成について

4. 議題

- 1) 令和 8 年度学校運営計画について
- 2) 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について
- 3) 木曽郡教育委員会連絡協議会総会について
令和 8 年 6 月 5 日（金）14：30～ 木曽文化交流センター

4) 共催について

- ・ 2026 セイジ・オザワ松本フェスティバル スクリーンコンサート
令和8年11月7日(土) 18:30～ 大桑村役場(多目的ホール)

5) 小・中学校の様子について(池井先生)

6) その他

- ・ 夏季の軽装について(5/1～10/31)

5. 今後の日程について

- ・ 5/30(土) 小学校運動会
- ・ 6/2(火) 第1回オオクワガタCS委員会(大桑小学校)
- ・ 6/5(金) 木曽郡町村教育委員会連絡協議会総会(木曽町)
- ・ 6/11(木)、12(金) 大桑村議会6月定例会
- ・ 6/13(土)～21(日) ホタルまつり(スポーツ公園)

6. 小学校授業参観

7. 次回教育委員会開催

令和8年6月19日(金) 9:30～

7. 閉 会

教育長 それではご苦労様です。時間ちょっと早いですが全員そろいましたので、始めたいと思います。よろしくお願いします。今日1日雨ということですが、昨日までは30度近い天候が続いておりまして体の方が変化についていけなくて中には、この時期でも熱中症になった人がいるというような報道もされておりました。この調子でいくと、今年もまた異常気象に振り回されるような気がします。世界情勢の影響が猛暑にも及ばないように願いたいというところでもあります。保育園、小・中学校も新年度始まりまして、1ヶ月半ほど経過したわけですが、今のところ特に問題があったようなことは聞いておりませんので、それぞれ順調に進んでいるところかと思います。今日、池井先生の方からもその辺のところを学校の様子等についてお話をしてもらおう予定にしておりますし、この後、小学校の参観も予定しておりますので、その辺のところの確認をいただければいいかなと思います。それでは次第に沿って進めていきますのでよろしくお願いします。

教育長 最初に報告の関係です。

- ・ 4/3（金）保育園入園式
- ・ 4/6（月）小学校入学式、中学校入学式
- ・ 4/7（火）蘇南高等学校入学式
- ・ 4/13（月）県市町村教育委員会連絡会（Zoom）
- ・ 4/22（水）セカンドブック贈呈（1年生）
- ・ 4/28（火）村歓送迎会（小学校長、須原駐在）
- ・ 4/29（水・祝）子ども釣専用河川開き
- ・ 5/10（日）木曽郡少年相撲大桑大会
- ・ 5/20（水）木曽郡町村教育委員会連絡協議会

報告については以上ですが、何か皆さんの方であればお願いします。

全委員 特になし。

教育長 それでは議題の方に入ります。（1）令和8年度学校運営計画についてということですが、それぞれ小学校・中学校の計画をお配りしてありますが、中身はボリュームもありますし、また皆さんそれぞれ確認をいただいた中で、もし何かあれば連絡をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員 意見等なし。

教育長 （2）県教育委員会および市町村教育委員会相互の連絡調整についてということで、資料をつけてありますが、これにつきましては県の教職員人事の関係で、適切な運営を図るために、例年、県の教育委員会と各市町村教育委員会が了解事項を取り交わすものであります。今日、承認をいただけるということであれば、本日付で覚書を締結をしていきたいと思います。何か質問等あればお願いします。

全委員 特になし。

教育長 承認ということで手続きを取っていききたいと思いますので、お願いします。

教育長 続いて、（3）木曽郡町村教育委員会定例総会についてということです。先日通知を配らせていただいておりますが、期日が令和8年6月5日（金）ということです。会場については、木曽町文化交流センターの多目的ホールです。日程については受付が14時30分からとい

うことで、総会が 15 時から、懇親会が 16 時 30 分からということで、懇親会出られる方については負担金 3,000 円ということで、当日徴収をしたいということでもありますので、よろしくお願いします。全員参加ということでよろしいですかね。

全委員 参加。

教育長 車の送迎は裏面のとおりの順次参ります。今回、前委員の水口氏が表彰対象になってるということで、総会に出席していただきますのでご承知ください。

教育長 続きまして、(4) 共催についてということでもあります。資料つけてありますが、セイジ・オザワ松本フェスティバルの実行委員会ということで、委員長は松本市の臥雲市長なんですが、2026 年のセイジ・オザワ松本フェスティバルのスクリーンコンサートということで、申請が来ております。内容については裏面に書いてある通りですが、毎年、松本市を会場に行っていますが、それについて録画をしたもので、各町村を回ってコンサートの模様を紹介したいということで、今年は大桑村で行うということでもあります。期日が令和 8 年 11 月 7 日(土)です。16 時 30 分から 2 時間ほどということでもあります。場所につきましては、役場の多目的ホールです。また住民等については、日が近づいたら、回覧等したいと思います。実行委員会の方で機材等持って出向いて、コンサートの模様を放映するという形だそうです。内容については以上ですが、何か質問等あればお願いします。

石其委員 多目的ホールの収容人員は何人ですか。

教育長 詰めれば 300 弱となります。ただ、この実行委員会からは 200 名程度でお願いしたいということです。スクリーンに映して、見るということで無料です。松本へ行けば、お金払って見ることもできますが、普通そんなに見る機会はないと思いますので、スクリーンでということですけども、その場所の雰囲気は十分かと思います。そんなことでよろしいですかね。

全委員 意見等なし。

教育長 承認ということでお願いします。これとは別に今年 9 月にもウィーンの楽団の出前コンサートも行うということで、9 月 15 日に予定されております。これについては、大桑小学校の体育館で観覧席を使い

ながらやりたいということです。内容については、後日紹介したいと思いますが、そんな予定があるということでご承知ください。

教育長 (5) 小・中学校の様子について、新年度始まって1ヶ月半ほど経過したということで学校の様子について池井先生の方からお話をさせていただきたいと思います。

池井先生 4月から3回定期訪問させていただきまして、そこで見たこと、感じたことを、最初に学校の様子、次に不登校の状況という形で二つに分けて小・中別に説明していきたいと思います。先ず小学校の方なんですが、4月からすごく感じることは、きちんと着席している児童が増えたのと去年は出歩く子が高学年で1人でした。今年はずっと座ってられない子は低学年に1人だけになりました。それと意識が先生に向いてるなというのはどのクラスも感じます。去年はきちんと座ってはいるんだけど、好きなことをやっていたり、何か作っていたりとか話していたりとか。そういう子が多かったんですけど、今年になって、6人の担任のうち5人が変わり、どのクラスもちゃんと先生の方に意識が向いてるなと感じます。三つ目なんですが、学習問題と学習課題がきちんと明示されている。どのクラスも、1年生は、まだそこまでいってないんですが、学習問題と学習課題をきちんと明示してというのは、県の教育委員会でもずっと前から言っていることなんですが、それが今まで見られなかったですが、今年は校長先生も変わったこともあるかもしれませんが、まず学習問題って子供が疑問に思ったことなぜなんだろうそれでそれを教師の方で学習課題ここに注意してとかこういう見通しで持っていけばいいっていうそこをやっていくんですけど、それをするによって、見通しを持って授業に臨んでいけるそこがなんかすごく大きく変わったなと思います。中学校では、以前から例えば社会科の末木先生の授業はそこがきちんと書かれていて、学習問題があって学習課題があって、それで流れが全部わかって、1時間終わると、その授業で何がわかったかっていうのがきちんと明示されていて、体育の外垣先生の授業はそういう形ではないんですけどホワイトボードにこういうことに注意してやっていけばいいというのをきちんと書かれていますので子どもが何か本当に見通しを持って楽しくできているなと中学校も感じます。では中学校の様子なんですが、昨年までステップルームで学んでいた生徒2人は、ほぼ教室で授業を受けるようになりました。昨年まではステップルームにいたり、隣の教室でリモート授業を受けていたんですけど教室で授業を受けているようになって、よかったなと思います。それと2番目として、昨年離席が多かった子なんですが、きちんと座って授業を

していてすごいなと思います。タブレット見てみると、なんかすごい
いろんなことを言ったらパパって打ってるんですけど授業に参加
してちゃんと聞いているんですよね。聞いていて、違うことやって
いるんですけど、そういうような形で中学校は引き続き落ち着いて授
業を受けてるなと感じました。では続いて不登校状況についてですが、
まず小学校の方からです。小学校で今、完全に学校に行けない子は1
人です。ホットステップの方で自分もちょっと関わらせていただいて、
中根先生とか保健師さんとか入っていただいて、調理学習をしたり、
畑をやったり、工作をしたり、楽しい活動をトランプしたりとかして
います。私の方も先週から児童とちょっと算数やってみるって言った
らやるって言ったので、始めまして、先週と今週で2回やりました。
普通に順番通り始めています。なかなか最初意欲あるんですけど、意
欲感じるからといって無理に進めちゃうと潰れてしまうので、本当に
少しずつ少しずつやるような感じで、いきたいと思ってます。中学生
は不登校傾向の生徒が各学年に1～2人います。週に二、三日登校し
ている生徒は、ステップルームで過ごしています。中学校ちょっと登
校渋りがちな子がいるんですけどたまたまかもしれませんが、女子に
多くなっていう感じはしています。あと、これまでに不登校傾向の子
が通信制の高校に行った子の状況を見てみると、卒業はしています。
多分74単位を取れば卒業はできるのでレベルを落としてもらったり
していくんだけど全部が情報入ってくるわけじゃないんですけど、
就労した子でも続かなかったり、就労まで至らない子がいるので、通
信制高校卒業したからといって、なかなか生活の糧を得るところまで
いかないのが現状なのかなという感じで思っています。今、定期的に
高校中退した子のところでお話を聞いているんですけど、アルバイト
をしたりして何とか少しずつ少しずつなんですけど働くというところ
に向かっていったる子がいます。雑駁ですがそんな感じです。

教育長 ありがとうございます。今、池井先生の方から小中学校の様子そ
れから、不登校の様子を伺いしましたが、このことについて何かあれ
ば、質問等はよろしいですか。

松尾委員 池井先生きめ細かく見ていただいて、大変ありがたいなと思います
ので教えていただきたいんですけど、小学校これから参観させていただ
くんですが、特別支援学級に関してなんですが、生徒の様子を見たい
んですけども特別支援学級、生徒さんの実態に合って参加ができない
ときもありますか。去年教室の前まで行ったんだけど、校長先生は
ちょっと実態がありますから、別の教室へって案内されたので。

池井先生 自分自由にしてもらっていますけど、今、3名入級してると思うんですけど、非常にフレンドリーで、1人の子はトランプのマジック見せてくれたり、もう1人の子は今まで原級が好きだったんだけど、なんかだいぶ差がついてきちゃって話を聞いてもらえなくなったようなことも訴えたようなことがあります、特にシャットアウトされるようなこと、見学に関してないかと思います。

松尾委員 生徒さんの実態として、来館者が来てこれ見る分には大丈夫そう。

池井先生 自分なんかは何回も行っていますが、特に今日は駄目ですって言われたことはないです。

松尾委員 自情障のお子さんは、教科学習とか自立活動は当然必要で、やっている活動が教科学習なのか自立活動なのか、個別の支援計画あたりの繋がり、ちょっと昨年あたり疑問なところもあったんですけどそこら辺、明確には。

池井先生 先生が言われる通りで、個別の指導計画がきちんとできているのかどうかというのは自分も見せてもらってないのでわからないんですが、入級の時点では、郡の就学支援委員会にかけるので、そのときは個別の教育支援計画もっと大きいスパンのものが作ってあるはずなんですよね。年ごとの個別の指導計画で本来だったら作ってあるべきだと思うんですけど、それが本当に継続されているのかというのはちょっとわからないところです。

松尾委員 昨年後半行ったときはフレンドリーでその子たちも話してくれたけど、この子たちにどういう力をつけていったらいいのかなって辺りは、力を持ってるのに十分になっていないとかあいそうだなとか、もったいないなって思うような部分もあってそこら辺また先生の方でもご助言いただければと思います。

池井先生 ありがとうございます本当に先生の言われる通りだと思うんですけど自情障学級は本来、原級に戻るのを前提にしてる学級だと思うんですが、ここ何年か様子見ていて戻った例がないんですよね。1件もないかなと思います。去年は自情障に入ってる子が、もう学校通えなくなっちゃったような状況もあるのでちょっといろんな事情があると思うんだけどそこら辺がちょっとわからないところであります。

細田委員 詳しいことわからないんですけど、きちんと着席できて意識が先生

に向いてる子が多くなっただって小学校のことなんですけど、こういうことが変わるとそういう変化が起こってくると思われま

池井先生 やはり一番は、わかりやすい授業なのかなっていう。そこに尽きるかなと思います。感覚的なこと言えば先生との信頼関係というのはもちろんあると思うんですが、人間でするので合う合わないっていうのもあるかもしれませんが、今年の4月からの様子を見てみると、どの子も先生の方に意識が向いてるなっていうのを、雰囲気として感じます。

白木先生 今先生のお話を伺っていて、私いつも思うにこの不登校の子の親御さん、一体どういう気持ちでいて、どうやってほしいと願っているのか知りたいですね。きっと焦っておられるおうちの方もおられると思うんですね。

池井先生 支援会議で会う機会があるんですけど、学校に行ってほしいなという気持ちはあるんですが、無理にとまではいかない。あと、戸惑っているところもあるかなと思うし、あとは今の状況で良しとしている保護者もいらっしゃるし、そこら辺が難しいところかなと思います。

白木先生 今、学校だけが勉強するところではなくなってきた、広がってきているので、そこから考えたときに、親は学校行ってほしいというそれが一番心が安定するわけですね。だけど他のところもあるわけだけどそこにも行けない子供たちが増えてきているっていうことが本当に大きなことかなと思って、まだ学校に来ていることが救いだとは私は思うんですけどね。ただ、それで親が安心してはいけな

池井先生 今まで小学校であまり適用できなくて外部の中学校を受験して行っている子も何名か知っているんですが、そうやって親の経済的なものとか、そういうものがあって、違うところに活動の場を設けられる子はそれで救いだと思うんです。先生の言われるように行き場のことで考えると、なんで長野県こんなに小中学校で不登校多いかっていう

と、選択肢がないんですよ。特にこういう村って1村1校しかないので、これしかなくて、これが保育園小学校中学校しか選択しないっていう、人間関係が変わらないというのがあるので、だからといって選択肢を設けるのが難しいんですよ。そこが難しいところかなと思います。通信制高校を卒業した子で、一般就労できて、続いている子が1人いるんですけど、通信制高校時代にバイトを始めてお金を稼いで、郡内の有名な企業に勤めているんですけど、それが続いていますよね。保護者と会って話を聞いていて思うのは甘いなっていう。なんか子供に対して全部見てあげちゃう。旅行に行くときにはお小遣いあげてクレジットカードを持たせてあげてみたいな、年齢だけ上がっていくんですけど、なかなか生きる力を付けていくのは難しいなと思います。実感でもあります。

松尾委員 今のお話伺っていて親を変えるのは難しいなと。親の対応は変わって欲しいなっていう。そこがジレンマというか、あるんですけど、これ直接池井先生に全部関わるかわかんないですが、教えてもらいたいんですけど、子供家庭センターが今年からできており、ほんとステップもそこにあっただすね。先ほどの通信制とか高校出て、その後のフォローというか、それもある程度専門の保健師さんとか心理士さん、今年から入っていただいたということで一番課題は、教育の場から離れちゃった人たちをどうフォローしていくか、ここで社会復帰っていうか、そこに繋いでいくところあるんですけども、私、中の組織のことが詳しくわからないので、もしわかることもあればそこら辺のフォローとか支援の体制というか、そういうとこどうなってるか教えていただきたいです。

池井先生 今までもそうだったんですけど。なかなか保健師さんも入れない家庭とか、保健師さんが入れるところはまだ繋がられるのかなっていう。大人になっても思いますね。福祉の方も含めて、なかなか難しい問題です。

教育長 中学校のステップルームから教室の方へ戻れたっていう。きっかけはあったんですか。

池井先生 教科によって、教室に入れないのがあったりしたんだけど、2人の生徒は隣でリモートで授業を受けてました。去年のところから本当に戻れるところまでいっていたので気持ちを落ち着かせながらそこで落ち着かせていけたのがステップルームがあったってことが一番大きかったと思います。そこは何も強制されないし勉強は強制されない

し、自分の好きなことを過ごせる空間が良かったのかと思います。特にそうそういう場があったってのが一番大きかったんだらうなって思います。

松尾委員 何かお話聞くと他町村では、その小学校までは支援員がクラスにいたりしていても、中学校行くと、マンパワーも足りないし、その不登校で行き場を失った学校内での居場所っていうかそこに課題があると聞いたんですけど、大桑中はステップルームで誰が対応していますか。

池井先生 今井先生が非常に子供との対応うまいと思います。何でも聞いてくれて、あとそこに石野先生も入っていただいています。

松尾委員 そういう人材というかマンパワーがとても貴重だなって思っただけ。ありがたいと思います。他町村は中学までそういう人の配置っていうか。なかなか追いついてないっていうような実態を聞いて苦しんでいらっしゃる話はよく聞くので、その辺ありがたいなと思います。

池井先生 そうですね大桑の場合、村費で教科の先生も雇っていただいているので、そういう先生が事業の補助について数学とかそういう状況あるんですけど、そういうステップみたいなのところにも、空き時間の先生が来てくれることはあります。

細田委員 行けなくなつて、また戻ったりっていう、すごい大きな変化だと思うんですね環境の、行けるようになった子もあるんですけど、例えば受け入れるっていう原級にいる子たちっていうのはそういういろんな変化っていうのは特に問題なくさらっと受け入れることができてるんですね。

池井先生 様子を見てみると、保育園からの繋がりがあるので、そこら辺なんか、受け入れたいという気持ち。特にギクシャクするとかそういうことのないような感じをします。

細田委員 ちょっとわからないですけども、友達関係とかもきっと絶対あるとは思いますが女の子とか、先生とか授業とかそういうことが不登校とかにこの相性とか、得意とか、そういうところから繋がってくるんですか。

池井先生 不登校になったきっかけっていうのは多分わかると思うんですけど

ど、その原因ってなかなかわからない。本人もわからないモヤモヤしたものがある。よく小学校で多いのは、運動会前になっていけなくなってしまう。高学年になってくると、だんだんと発達段階があって、3年生、5年生ぐらいになると周りがちょっと見え出してくるので、周りとの比較も出てくるし高学年になるとあんまりかっこ悪い自分を見せたくないような、中学校など余計そうかもしれないですけどでも中学校に行けない子も、家で推し活をやっていたりして充実しているんですけど、でも推し活に関われること自分すごいと思うんですけど、そこで何かエネルギーを発散できるので、すごいなど。良くはないんですけどちょっとありますねだから原因はわからないと思います。先生だけのせいではもちろんないと思うし家庭の問題もあると思うし。でも、一旦なっちゃうと大きいので、本当にならない工夫というのが一番かなと思います。

石其委員 早い段階に生まれて間もないころから発達がちょっと遅れているような指摘を受けた場合、信大あたりで親を含めて、面接というかなんか話をしながら、これからどういうふうにしていこうかみたいなものがあるようなことを聞いたことがあるんですが、そういったところで治療された経験がある子とかがっているんですか。

池井先生 たくさんいます。発達障害と診断されて、早期に木曽町のこどもセンターとかいろいろ通うとか、そういうところによって、すごく今改善されていく子はいますので、早期発見早期対応というのは大事なことだと思うんですけど、逆に親が受け入れなくて、うちは大丈夫だって言って、小学校まで行ってしまうと結構難しいかなって感じは受けます。保健師さん繋がっているんで、保健師さんの言うことをちゃんと受け入れて通院とかそこまで行くうちはいいんですけど、うちは大丈夫っていう何か自信がある。なんでかわかんないんですけど、そのうちは難しいなって感じがします。

石其委員 自分の子供をなかなか認めるのって難しいと思います。

池井先生 難しいと思います。やっぱりいろんなじいちゃんばあちゃんに言われるとか。いろんなことが絡まってくると思うんです。

細田委員 私の周りでもおじいちゃんおばあちゃんが今ほどの知識は皆さん持っておられないので、お母さんとかにひどいことを言うてしまうっていううちがやっぱり多くていつも思うんですけどそういうその家族だけじゃなくて村民みたいな全体を含めて今の状況とか、あと、こ

ういうものはそのちょっと相談に行った方がいいんだっていうような活動っていうんですかね講演会っていうとちょっと難しくなるんですけど、冊子とか。何か気軽に参加できるものとかあるといいなって思ったことがあるんですが。そういうことをされてるところとかは特にはないですか。

池井先生 保育園の参観日で、年中さんの保護者に年に一度、5月にあるんですけど講演会をさせていただいてるので、そこで育児で大事なことから、学校でこんなことがあるよみたいなことはお話はさせていただいています。

細田委員 おじいちゃんおばあちゃんまで届くといいなっていつも思っていて、今一緒に住んでるうちってあんまりないんですけれども、特に一緒に住んでるうちがそうだったりあと、逆に住んでないからこそうちが多いような話を受けることが多くて、なんかそこすごく難しいんですけど、届く何かがあるといいなって思う。

池井先生 皆さん言われる通りだと思うんですけど、お母さんが責められるのはうちはそういう家系じゃないのでそういう子はいなかったみたいな、でもある一定の確率で生まれてくるのは確かだし、お父さんが高齢なお母さんじゃなくてお父さんが高齢になればなるほどその障害確率も高くなってくるっていうのを世間一般知らないみたいなみんなお母さんのせいにしてしまう。母親苦しむってのはやっぱあると思うんですけど、なかなか本当に年配の方に話す機会はないかなと思います。

細田委員 なんか回覧とかで読み物みたいな。あるといいなって思うときもあります。

教育長 池井先生ありがとうございました。また、このような機会もうけたいと思いますのでよろしくお願いします。池井先生の方から話ありましたが、この後、小学校へ参観に行きますのでそんなことも気にしながら、見ていただくのがいいかなと思います。それではその他の方に行きますけど、ここに書いてありますけれども、5月1日からクールビズということで夏の軽装で対応しておりますので、10月いっぱいまでノーネクタイノージャケットで対応をお願いします。その他、特に用意してないですけど皆さんの方で何かあればお願いします。

全委員 特になし。

教育長 今後の日程ということで、お願いします。

- ・ 5/30（土）小学校運動会
- ・ 6/2（火）第1回オオクワガタCS委員会（大桑小学校）
- ・ 6/5（金）木曽郡町村教育委員会連絡協議会総会（木曽町）
- ・ 6/11（木）、12（金）大桑村議会6月定例会
- ・ 6/13（土）～21（日）ホタルまつり（スポーツ公園）

日程については以上ですが皆さんの方で何かあればお願いします。

全委員 特になし。

教育長 今日の議題については以上になります。それでは、小学校へ移動をお願いします。給食の試食もお願いします。